

当院の外来化学療法体制

- ☑ 当院の外来化学療法は、医師 / 看護師 / 薬剤師 / 栄養士等、がん治療専門の多職種が連携をする体制をとっています。
- ☑ 安心・安全な外来化学療法を推進していく観点から、24 時間緊急時の相談対応ができるよう体制を整備しています。
- ☑ 化学療法で投与する薬剤は、当院の専門委員会で審査承認されたものを使用しており、そのうち 4 割以上は外来で投与可能となっています。

当院では、東部がんセンターのコンセプトに基づき、よりよい治療を提供する体制を整えています

薬物療法(化学療法)



5大がんをはじめ、頭頸部、皮膚がんなどにも対応し、放射線治療との併用も行っています。

がん薬物療法に特化した専門的知識を持つ薬剤師・看護師が患者さんの状態をチェックし、必要時には多職種と連携しながら、適切なケアとアドバイスを行っています。

2020年薬物療法年間患者延べ数

1,118人

(地域がん診療連携拠点病院基準: 1,000件/年)

About Us 「地域がん診療連携拠点病院」として

地域と東部がんセンター

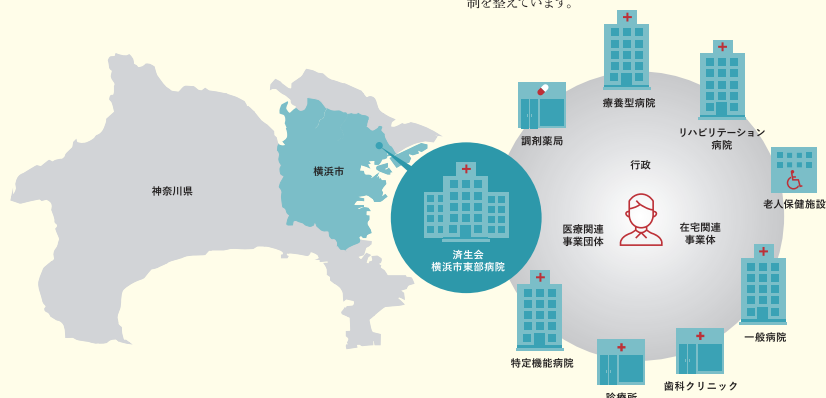
手術や放射線治療は当院での治療が必要ですが、高血圧や糖尿病などの併存疾患の治療や治療後の経過観察などは患者さんのご自宅近くで診療を受けられるよう医療機関と連携し、長く続くがん診療をなるべく負担なく行えるような体制を整えています。医療機関同士の情報交換を徹底的に行うため地域連携パスなどを使用し、患者さん・病院間での情報共有にも努めています。

地域がん診療連携拠点病院

厚生労働省の指定する「地域がん診療連携拠点病院」として、専門的ながん医療の提供、地域の他の医療機関との連携、がん患者さんに対する相談支援、情報提供などを行っています。

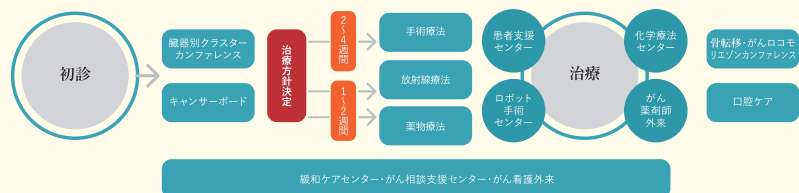
24時間対応可能

24時間・365日いつでも急な病状の変化に対応できる救急医療体制を整えています。



東部がんセンターの治療の流れ

がんと分かってから治療を受けて退院するまで、多くの専門職が関わり、患者さんをしっかりフォローいたします。



Our Advantage 専門スタッフ・専門チームが、患者さんご家族をケアします

東部がんセンターコンセプト

今や2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで亡くなる時代です。

がんの患者さんは手術や放射線治療、抗がん剤治療など高度な治療が必要であり、就労や子育てなどの生活の問題も解決しなくてはなりません。

それらを行うには多くの高度な機能があり、たくさんのスタッフを持った病院である必要があります。国では、そのような病院を「がん診療連携拠点病院」として指定しています。

当院は、2014年8月に国から「地域がん診療連携拠点病院」に指定されました。

東部がんセンターでは、患者さんが最適ながん診療を受けられるように組織されています。



がん看護外来

診療科の依頼を受け、がん告知や治療説明の際にがん分野の専門・認定看護師が同席しています。がん告知(初発・再発)を受ける患者さんとそのご家族の苦痛を軽減できるよう、不安や心配事をお聞きし、患者さん・ご家族が納得した上で意思決定ができるようサポートしています。治療や療養の調整をお手伝いしながら、生活の質を高め、維持できるよう支援します。

全人的アプローチで
あらゆるジャンルの専門家が
患者さんご家族をケア



患者さん

緩和ケアセンター

緩和ケアは終末期だけのものではなく、がんと診断されたときや治療中、さらには治療が困難となった時期に至るまで、全ての段階において、がんによって生じる「身体や心の痛み」を和らげることです。

緩和ケアチームは主治医と協力しながら、患者さんが前向きに治療を受けられるよう、そして、日々穏やかに暮らしていけるよう、その人らしさを大切にして、患者さんに合わせた支援をしています。

ロボット手術センター



患者支援センター

化学療法センター

がん薬剤師外来

がん薬剤師外来

がん薬剤師外来では、がん治療に特化した薬剤師が、患者さんの治療継続を目指し、抗がん剤治療のサポートを行います。治療前には抗がん剤の必要性に加え、治療計画、副作用対策、日常の過ごし方や費用等について説明し、また、治療中の吐き気や皮膚障害等の副作用には効果的な対策を提案して、医師や看護師との協力のもと一人ひとりに安全かつ最適な治療を提供します。

